

平成22年10月1日

いしかわ農地・水・環境協議会

■栗津ビオトープ生き物調査及び

雁の池語り部の会の開催

奥能登支部【ビオトープ栗津川】



梅雨明け7月17日(土)の晴天の中、珠洲市三崎町栗津において、栗津ビオトープ生き物調査及び雁の池語り部の会を開催しました。(写真)

生き物調査では、この地域で生き物調査を実施している東京大学院の西原氏、雁の池語り部では地元珠洲市三崎町公民館館長の田保氏を講師として迎え、珠洲市立みさき小学校の児童や父兄、NPO法人おらっちゃんの里山里海の方々など約30名が参加しました。

栗津ビオトープは、県営ほ場整備事業 栗津川地区(H9~H17)において、地域の生態系の保全に配慮して整備されました。その施設が、生き物の生息環境として機能を発揮しているかどうかを確認すると共に、環境教育の場として毎年生き物調査を実施しております。

児童には、生き物調査によって地域の環境や生き物に興味をもってもらい、また、雁の池の語り部を通じてため池を作った先人の苦労を知ることで、土地改良施設の重要性について理解を深めてもらいました。

今後も、地域の豊かな生態系の維持のため、集落全体としてビオトープの保全に努めていきたいと考えております。



■環境保全の取り組みについて

南加賀支部【長田町環境保全会】

小松市の北部にある長田町環境保全会です。当地域の状況は、集落を含め全域が農業振興地域にあり、世帯数290の集落を取り囲むように広がる農地約70haが取り組みエリアであります。また、旧国道が集落を南北に縦断し、周辺には小中学校や高校等があり、通勤・通学ルートとして周辺住民の往来が多い地域です。このため、農業水路や農道は集落を縦断し、農地は県市道にも沿っており、農地・農業施設の良好な管理保全は、周辺地域と密接な関係にあります。

このような中、当地域の取り組みは町内会、長寿会、壮年会、子供会の協力を得、農地等の保全管理として「春の江堀」「盆前の水路の藻取り」「盆過ぎの水路の泥上げ・農道砂利補修」「秋冬の補修」を、また、環境の取り組みとして「ひまわり畑」「道路沿い畦のコスモス植栽」等を基本に1年間の活動を行っています。

ひまわり畑では、あざやかな黄色い花の中で遊ぶ子供達の姿が見られます。(写真)開花時期が10日程度と短くとも、有意義で楽しみな取り組みだと思っています。ひまわりの後にはコスモスを播きましたが、雑草の芽が先に出てしまうなど、コスモス畑が広がるか気をもんでいる状況にありますが、10月下旬頃が満開予定なので、近くへお越しの際は是非とも見に来て下さい。



■農道・排水路法面へのセンチピードグラスの植栽

中能登支部【はるき美土里協議会】

鹿島郡中能登町の北西部区域に位置する春木地区で活動している「はるき美土里協議会」では、農道・排水路法面への雑草・景観対策として平成18年度からセンチピードグラスの植栽を進めています。(写真)

農地の大区画化(H15~H20)により、1箇所あたりの法面が大きくなり除草作業に労力が必要となるため、何とか軽減できないかと対策案を協議してきました。そし

て、環境に優しいという理由から、ヒメイワダレ草、芝桜などを使った植栽を実施することとなり、それぞれ試験植栽した結果、植栽後の管理も含めてセンチピードグラスが一番適していると考えました。植栽方法についても、ポット苗を使ったり、幅1m程度のグラスシート(1m² 8g種子)を張り付けたりと、毎年、試行錯誤を繰り返しています。

参加者については、活動の珍しさも手伝って、青壮年団、子供会、女性協議会など幅広い方に参加いただき、植栽を進めてきました。その後の管理では、保水管理がうまくいかなかったり、

雑草に負けてしまい消えてしまう箇所も見られましたが、徐々に成果が出てきた箇所も増えてきました。



除草剤の使用は手軽である反面、土が軟かくなり漏水の原因や法面の崩壊につながるなど管理面の問題もあります。センチピードグラスによる畦畔・溝畔の保護が今後の除草作業の労力軽減につながればと考えています。

■ひまわりいっぱいの里、夏栗

県央支部【夏栗農地を守隊】

かほく市の「夏栗農地を守隊」は農村環境向上活動の一環として、平成20年度より夏栗老人会及び大海保育園児が中心となり遊休農地での「ひまわり」の種まきをしています。

5月に老人会と種を植えた後(写真:左下)、施肥、草むしりなどの世話を続けてきました。又、7月にはひまわり迷路をつくり、多くの園児達が楽しみました(写真:右上)。



園児には、ふるさとの水と土へのいづくしみの心を育み、農業への親しみを体験してもらうと共に、美しい農村景観を形成し、維持していくことが必要だと思います。

この活動を継続し、園児から老人までが一緒になって楽しみながら活動していきたいと思います。



【事務局からのお知らせ】

今年は猛暑が続き、農作物への影響が心配されるところですが、地域活動の年間行事は順調に行われておりますでしょうか。引き続き、各地域の活動紹介にご協力お願いいたします。

〒920-0362 石川県金沢市古府1丁目197番地 石川県土地改良事業団体連合会内

いしかわ農地・水・環境協議会 事務局: 中 正樹

TEL: FAX 076-249-8191 E-mail: ishikawa@shigenhozen.jp